



【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

	植物化学調節学会第56回大会
	イネのジャスモン酸受容体変異株で生じる病斑に関する研究
	○ <u>稲垣 秀生</u> 1※, <u>湯本 絵美</u> 2, <u>深田 史美</u> 3, <u>朝比奈 雅志</u> 1,2, <u>宮本 皓司</u> 1 (1帝京大院・理工, 2帝京大・先端機器セ, 3岡山大・資源植物科学研究所)
	イネにおけるジャスモン酸の受容において重要な役割を果たすOsCOI2の変異株においては、擬似病斑が出現することが明らかになっている。本発表では、この擬似病斑においてジャスモン酸やサイトカイニンといった植物ホルモンが蓄積していること、OsJAZの過剰発現でも同様の擬似病斑が出現することを報告した。